

大腿骨頸部・転子部骨折で手術を受けられる方へ

患者様用

患者氏名

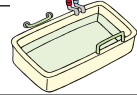
様

主治医:(

受持看護師:(

) 受持理学療法士:(

)

入院日数	入院日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3～4日目	術後5日目～16日目(退院)	回復期
月日	/	/	/	/	/ ～ /	/ ～ /	転院先
達成目標	手術に対して分からない事が相談できる	痛みが和らぐ	足のしびれや冷感が無く、痛みが和らぐ 車椅子で移動できる			(退院基準) 痛みやしびれに問題が無ければ転院できます	施設又は連携病院
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置	必要に応じて鎮痛剤を使用します。 いつも飲んでいる薬を薬剤師が確認し、主治医の指示で薬を調整することがあります。	朝起きたときに、少量の水で薬を飲むことがあります。 手術後も点滴があります。	朝と夕方に抗菌薬の点滴があります			術後14日までに全抜糸をします。 全抜糸後次の日に傷口の確認をします。	
		 足の血栓予防の為に靴下を着用します。 (医師の許可があるまでは着用していただきます) 手術後は機械を使用して血栓予防を強化します。		傷の状態にあわせて消毒があります。 ※毎日はありません。			
検査	必要に応じて血液検査、他科受診があります。	手術後、レントゲン撮影があります。	血液検査があります			血液検査があります レントゲン撮影があります	
リハビリ 安静度	痛みに応じてベッド上で動くことは出来ます 元々の歩行状態(※認知症などで意識が混乱している時はご家族が側にいるだけで患者さんは安心されます。	手術が終わって、翌朝までベッド上安静です。 頭も起こすことはできません。	ベッド上で座れるようになり、車椅子で移動できます。 リハビリが始まります(担当の理学療法士が部屋に來ます)※金曜日に手術の場合は月曜からリハビリ開始します。		転倒に注意しながらご本人の状態に合わせてリハビリを進めていきます。 リハビリ室で訓練を開始します。早い時は術後2日目からリハビリ室へ行きます。平行棒内での起立から徐々に歩き始めます。	※車椅子で退院する事がほとんどです。福祉タクシーで転院します。 元々の歩行状態を目標に継続してリハビリを行います	
							
食事	食事は夕食までです。 水分摂取を禁止する時間はお知らせします。	手術の後、食事はできません。	手術翌朝から通常の食事が出来ます				
清潔		看護師が身体を拭きます。	看護師が身体を拭きます				傷口が濡れないようにシャワー浴をお手伝いします。
排泄	洗腸をします。 	手術後に尿の管が入っています。	尿の管が抜けます。 オムツの種類はご相談下さい。				
患者様及びご家族への説明	入院生活について説明します 病棟看護師が手術の準備について説明致します 医師が手術についての説明をします。 手術室の看護師が説明に伺います 介護保険サービスを利用の方は担当ケアマネジャーに入院したことを連絡してください。	術後に主治医から手術の結果と今後について説明があります。 自宅待機されている家族の方には、主治医より電話での説明があります				主治医より病状経過の説明をします 医療連携担当者が、転院先についてご相談に伺います。 ※転院先が決まり次第お知らせします。	介護保険の申請やサービスについて相談しましょう。 

※手術後の状態によっては変更もあります。ご不明な点がありましたら、主治医・看護師にお尋ねください。

このパンフレットは常に手元に置いて下さい。